TSD-AT シリーズ タッチドライバ Universal Pointer Device Driver UPDD ユーザーズガイド

Version 05.01.1425B/G16457

三菱電機エンジニアリング株式会社

http://www.mee.co.jp/sales/visual/touch-monitor/

目 次

1. はじめに	З
2. 動作環境	4
3. インストール	5
 アンインストール 	9
5. ソフトウェア起動	
6. キャリブレーションの実行	
7. UPDD コンソール(機能設定ツール)	
7.1 ハードウェア	17
7.1.1 デバイスの追加	
7.1.2 マルチモニタ設定	
7.1.3 タッチ OSD	
7.2 クリックモード	
7.3 プロパティ	
7.4 キャリブレーション	
7.5 状態	
8. スタンバイ(スリープ)状態からの復帰	
9. 故障かなと思ったら	
付録 タッチパネルアプリケーションのデザイン	

1. はじめに

このたびは弊社タッチパネルモニターをお買い上げ頂きまして誠に有り難うございます。 このユーザーズガイドに説明しておりますタッチドライバ"UPDD"(以後、本ソフトウェア)は、 TSD-AT シリーズ タッチコントローラと通信を行い、タッチパネルを操作することによりマウス カーソルの移動やマウスクリックのイベントを実行させるマウスエミュレーションソフトウェアで す。

ご使用前に必ずお読み下さい。

●本ソフトウェアご使用に際しての制限事項 本ソフトウェアには、現段階では対応しきれていない制限事項がございます。障害が発生した場 合、サポートできない可能性がありますのでご了承ください。

●本ソフトウェアご使用に際して

タッチ動作は、弊社より提供いたします本ソフトウェアと代表的なオペレーティングシステムとの組み合わせにおいて確認しております。お客様独自のタッチドライバ(ソフトウェア)を使用される場合は、弊社営業まで問い合わせください。

●ユーザーズガイド

本書は、ご使用になられる本ソフトウェアの対象となるハードウェア(コンピュータ)及び、オペレーティングシステム(Windows)を熟知したコンピュータ熟練者向けに作成されています。

●CD-ROM の取り扱いについて

本CD-ROM の故障および損傷を防止するため、次の事項を必ず守ってご使用ください。

- * CD プレーヤーなどで絶対に再生しないでください。音量によってスピーカーが破損したり、 耳に障害を被ったりする危険性があります。
- * テレビやラジオなど強い磁界を発生させる装置の近くでのご使用・保存を避けて下さい。
- * 折り曲げないで下さい。変形します。
- * 信号記録面に手を触れないで下さい。傷がつき使用出来なくなります。
- * ホコリを避けて下さい。傷がつき使用出来なくなる場合があります。
- * 落としたり、衝撃を与えたりしないで下さい。変形することがあります。
- * 直射日光のあたる場所や高温多湿になる場所でのご使用・保管は避けて下さい。変形や故障の 原因になります。
- * 薬品が触れる場所や、薬品のそばでのご使用・保管は避けて下さい。故障、変色あるいは変形 の原因となります。
- * ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは危険ですから絶対に使用しないでく ださい。
- * プラスチックケースの上に重いものを置いたり落としたりすると、ケースが破損しけがをする ことがあります。
- ●ご利用条件、注意事項(導入する前に必ずお読みください)

お客様は、三菱電機エンジニアリング株式会社製タッチパネルモニターを接続しているコンピュ ータでのみ、本ソフトウェアを使用する事ができます。ただし、オンラインソフトおよびAdobe Reader はこれに含まれません。

お客様は、本ソフトウェアを複製および転載をおこなうことはできません。ただし、お客様ご自 身で本ソフトウェアをバックアップする目的に限り、本ソフトウェアを1部のみ複製することが できます。

お客様は、本ソフトウェアを商行為として第三者への譲渡やレンタル又はリースすることはできません。

お客様は、本ソフトウェアを修正、解体、逆コンパイル、逆アセンブルすることはできません。 お客様は、本ソフトウェアを日本国内のみで使用することができます。 本ソフトウェアの使用条件、動作環境以外でのご利用はできません。

本ソフトウェアが外国為替及び外国貿易管理法及びこれに付随する法令の規制対象品となる場合、お客様は当該法令及び規則を遵守するものとします。

●本ソフトウェアのサポート

お客様は、タッチパネルモニターの一般的な動作に関わる事項に限り、弊社からのサポートを受けることができます。

本ソフトウェアの導入および使用に関しては、お客様の責任においておこなう必要があります。

本ソフトウェアを導入することによって発生したトラブルに関しましては、弊社では責任を負い かねます。

環境を元の状態に戻せるように、インストール前に、ご使用中のシステムのバックアップをお取 りください。

弊社はお客様に対し、本ソフトウェアの使用又は使用不能から生じる如何なる損害(事業利益の 損害、事業の中断、事業場所の損失、又は、その他の金銭的損害を含む)に関しての一切の責任 を負わないものとします。

タッチパネルモニター用ソフトウェアには、現段階では対応しきれていない制限事項がございま す。障害が発生した場合、これらの制限事項に書き込まれている内容に関しては、サポートでき ませんのでご了承ください。

●コンパチビリティ

本ソフトウェアは、使用されるコンピュータ(ホスト)、オペレーティングシステム、アプリケー ションなどの組み合わせにおいて、不具合が発生する可能性がゼロではなく、お客様の使用環境 下にて評価を実施いただき、その上でご使用ください。

また本ソフトウェアは、随時改良及び公開をおこなっています。ご不明な点は、弊社営業まで問い合わせください。

●著作権

本ソフトウェアの著作権はTouch-Base, Ltd.に帰属します。

本書および本CD-ROM のソフトウェアに記述されている会社名、製品名等は、それぞれ各社の 登録商標または商標です。

オンラインソフトに関しては、三菱電機エンジニアリング株式会社は、それぞれのソフトウェア の作者に対して配布の許可を得ています。お客様が再配布する場合には、その作者に対して、お 客様が配布の許可を受ける必要があります。お取り扱いにつきましては、それぞれのソフトウェ アに添付されたドキュメントをお読みください。

Adobe Reader のお取り扱いにつきましては、アドビシステムズ社の使用約款に準じます。

2. 動作環境

OS Microsoft Windows 8.1 日本語版 64bit

※その他の OS には対応しておりません。

対応していない OS をご使用の場合は弊社までお問い合わせください。 ※全ての環境での動作を保証するものではありません。 3. インストール

※ご注意※

- O インストールが完了するまで USB ケーブルでパソコンと接続しないでください。
- O Administrator(管理者)権限のあるユーザアカウントでログインしてください。
- 起動中のアプリケーションは全て終了してください。

※本書では、Windows 8.1 64bit版環境下における使用方法について説明しています。 説明内の画面は Windows 8.1 のものです。お使いのパソコンや OS のバージョンによって画像が異なる場合があります。

(1) インストーラ起動

セットアッププログラム(setup.exe)を実行するとユーザアカウント制御画面が表示される場合があります。表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

®	ユーザー アカウント制御 ×
👔 次のブ	コグラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?
P	プログラム名: Updd Setup Program 確認済みの発行元: Touch-Base Ltd ファイルの入手先: このコンピューター上のハード ドライブ
♥ 詳細を表示	する(<u>D</u>) はい(<u>Y</u>) いいえ(<u>N</u>)
	<u>これらの通知を表示するタイミングを変更する</u>

セットアッププログラムが起動すると以下の画面が表示されます。

•	インストール	? ×
TOUCH	UPDDインストール	
本ソフトウェアをコンピュータにインストール します。 USBコントローラは自動的に検出される のでポートを選択する必要はありません。 シリアルコントローラは、今もしくは後で使 用するポートを選択する必要があります。 インストールする場合には、インストー ル、をクリックしてください。もし、今回イン ストールしない場合には、キャンセル、をク リックしてください。 インストール途中は画面をさわらないでく ださい。	パージョン: 05:01:1425 サポートされるコントローラ Controller Serial, Serial ・ Controller USB, USB	
**>セル	▶ インストール	

(2) コントローラの選択

リストから、ご使用されるタッチパネルコントローラを選択してください。

○ シリアルポート接続の場合

[Controller Series, Serial]を選択し、[シリアルポート]のプルダウンメニューよりお使いのシリア ルポートを選択してください。

シリアルポートの選択後[インストール]をクリックしてください。

b	インストール	?	×
TOUCH	UPDDインストール		
本ソフトウェアをコンピュータにインストール します。 USBコントローラは自動的に検出される のでポートを選択する必要はありません。 シリアルコントローラは、今もしくは後で使 用するポートを選択する必要があります。 インストールする場合には、インストー ル、をクリックしてください。もし、今回イン ストールはない場合には、キャンセル、をク リックしてください。 インストール途中は画面をさわらないでく ださい。	パージョン: 05:01:1425 サポートされるコントローラ 	•	
キャンセル	► インストール		

※接続されているシリアルポートが他のソフトウェアで使用されている場合、インストールが完了してもタッチが機能しません。インストールの前に接続先のシリアルポートを確認してください。

O USB 接続の場合

[Controller USB, USB]を選択し、 [インストール]をクリックしてください。

	インストール	?	×
	UPDDインストール		
本ソフトウェアをコンピュータにインストール します。 USBコントローラは自動的に検出される。 のでポートを選択する必要はありません。 シリアルコントローラは、今もしくは後で使 用するポートを選択する必要があります。 インストールする場合には"インストー ル"をクリックしてください。もし、今回イン ストールしない場合には"キャンセル"をク リックしてください。 インストール途中は画面をさわらないでく ださい。	<u>バージョン: 05:01:1425</u> サポートされるコントローラ Controller Serial, Serial ⊷← Controller USB, USB		
キャンセル	► インストール		

(3) 使用許諾契約書

使用許諾契約書の画面が表示されます。

契約内容をお読みいただき、同意される場合は[次へ]をクリックしてください。

	インストール	? ×
TOUCH	UPDDインストール	
使用許諾契約書に同意する場合は 「次へ」を選択してください インストールしない場合は「キャンセル」 を選択してください	著作権 本ソフトウェアの著作権はTouch-Base, Ltdに帰属します。 使用権 お客様は、お客様が使用権を得ているコンピュータ上でのみ 使用する権利を与えられます。 お客様は、本ソフトウェアが著作権法等によって保護される 無体財産権を含む機密情報又は財産的情報を有することを 認識すると共に、以下の条件を守らなければなりません。 本評話条項以外により本ソフトウェアを使用、コピーする行為は できません。 本ジコトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは 逆アセンプルする行為はできません。 本ソフトウェアのコピーは許可しますが、第三者への再配布時 には三菱電機エンジニアリング(林)の許可を得ると共に著作権を 表示する必要があります。	
**>セル	□→次へ	

(4) インストール処理

インストールが始まりインストール処理中の画面が表示されます。しばらくお待ちください。

 インストール	レ中
57%	Version 05.01.1425B

(5) インストール完了

インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。 [閉じる] をクリックしインストーラを終 了させてください。



(6) 再起動

以下の画面が表示される場合があります。[はい(Y)]をクリックして再起動してください。

	UPDD Install	×
?	The system must be restarted for the following reason(s) One or more device drivers could not be stopped Reboot now ?	
	[はい(Y) いいえ(<u>N</u>)	

※ご注意※

- ご使用の環境によってはインストール直後、本ソフトウェアが正常に動作しない場合がございま す。そのような場合は PC を再起動してください。
- USB 接続の場合、インストール完了後に USB ケーブルを接続してください。
- インストール後、ご利用前にキャリブレーション(6.章 キャリブレーションの実行 参照)を行ってください。

4. アンインストール

※ご注意※

USB コントローラをお使いの場合、アンインストールを行う前に USB ケーブルを PC から外して ください。

本ソフトウェアをアンインストールするには、以下の操作を行います。

(1) コントロールパネルを開く

[チャームバー] から [設定] を選択し [コントロールパネル] を開きます。



(2) プログラムと機能の起動

[コントロールパネル]から [プログラムのアンインストール]を選択します。



※コントロールパネルで [プログラムのアンインストール] が表示されていない場合は、コントロールパネルの [表示方法] を「大きいアイコン」または「小さいアイコン」で表示し、 [プログラムと機能] を選択してください。



(3) アンインストールプログラムの起動

[Universal Pointer Device Driver]を選択して [アンインストールと変更]をクリックします。

			プログラ	ムと機能				×
(ר–חאכב א 📷 ז ד 🔄 🖯	ノパネル ▶ う	すべてのコントロール パネル項	≣ ⊧ 70%	ブラムと機能	~ ¢	プログラム	P
	コントロール パネル ホーム	プログ	ブラムのアンインストール	または変	浭			
	インストールされた更新プログラムを 表示	プログ リックし	ラムをアンインストールするには ,ます。	、一覧からフ	ログラムを選択して [アンイ	ンストール]、[変更]、ま	たは [修復] をク	'
6	 Windows の機能の有効化または 無効化 	整理 ▼	アンインストールと変更				•== •	0
		名前			発行元	バージョン	サイズ	^
		🐌 Univer	sal Pointer Device Drive	er	Touch-Base Ltd	05.01.1425		
			Touch-Base Ltd 퉳	品バージョン	: 05.01.1425			

(4) アンインストールの実行

以下のウィンドウが開きますので、[アンインストール]をクリックしてください。アンインストー ルが始まります。

b		アンインストール		?	×
	UPDDアンイ	ンストール			
		コンピュータからアンインストールします。 続行するには"アンインストール"をクリックしてくださ トール中は画面をさわらないでください。もし、アン い場合には"キャンセル"をクリックしてください。	えい。 アンインス インストールしな		
	**	ンセル	אלא 🗸	ンスト	- <i>I</i> L

(5) アンインストールの完了

アンインストールが完了すると以下の画面が表示されます。 [閉じる] をクリックしプログラムを終 了してください。



5. ソフトウェア起動

Windows を起動すると、本ソフトウェアは自動起動しタッチが有効となります。 調整や設定などを行うソフトウェアは以下の方法でお使いいただけます。

O [チャームバー] から [スタート] を選択しアプリの一覧の [UPDD] からソフトウェアを起動で きます。



○ デスクトップ右下の、システムトレイの ▶ アイコンを右クリックし、表示されたポップアップ
 メニューからもソフトウェアを起動できます。

/	有効
	キャリブレーション
	設定
	テスト
	ヘルプ
	情報

有効(Enabled)	タッチ操作の有効/無効を切り替えます
キャリブレーション	キャリブレーションを開始します。(6 章参照)
設定	UPDD コンソール(機能設定ツール)を起動します。(7章参照)
テスト	描写テストツールを起動します。
ヘルプ	UPDD についてのヘルプを表示します。
情報	本ソフトウェアバージョンを表示します。

※ご注意※

OWindows 起動後およびログイン後はドライバが周辺機器の認識を行っており、タッチ操作を行う と正常な認識ができませんので、システムが完全に立ち上がった後に操作を行ってください。 6. キャリブレーションの実行

タッチパネルモニターのタッチ機能を使用される前にキャリブレーションを行ってください。

※キャリブレーションは、タッチパネルのタッチ入力した位置と、Windows のカーソル位置を合わせるための補正を行う大切な操作です。

※一度キャリブレーションを行うとキャリブレーションデータがWindows に記憶される為、以後、 Windows を起動するたびに本操作を行う必要はありません。

- (1) 5. ソフトウェアの起動を参照し、[設定]を起動します。
- (2) UPDD コンソールの左下キャリブレーションをクリックします。

•	UPDDコンソール		×
Controller USB			
ハードウェア ↓ クリックモード ↓ クリックモード ↓ フロパティ ↓ キャリブレーション	「● 画面の 全体 を操作 → USBボート に接続		
状態	∰ ቅ୭ቻOSD	<mark>子 デバイスの追加</mark> — デバイスの削除	
キャリブレーション		√ 閉じる 🧊 情報	

(3) キャリブレーション画面が表示され、十字のターゲットが表示されます。

ターゲットの中心をタッチすると周りに円が表示され、円の色が変わるまでタッチし続けてください。 その後、指を離すと[レ]マークが表示され、ターゲットが次のポイントに移動します。次のターゲ ットの中心を同様にタッチしていきます。



(4)全てのキャリブレーションポイントのタッチ入力を終えると確認画面が表示されます。 画面をタッチして問題が無ければ[OK]ボタンをクリックします。 誤入力等、問題があった場合は「キャンセル」ボタンを押して最初からやり直します。



(14/37)

※ワンポイント※

○ タッチの精度を上げたい場合、7.4 項のキャリブレーション設定によりキャリブレーションポイント数を 11 ポイントあるいは 15 ポイントに設定してキャリブレーションをお試しください。

○ キャリブレーションは 5. ソフトウェアの起動 に記載の キャリブレーションから起動すること もできます。その場合、上記(3)からの実行となります。

※ご注意※

O7.1 項の①[操作エリアの選択]で[その他]を設定する場合は、7.4 項のキャリブレーションポイント数を4 ポイントに設定し、キャリブレーションを行ってください。

○マルチモニタ環境において、操作エリアの設定(7.1.2 マルチモニタ設定 参照)を行っていない 場合、以下の画面が表示されます。

画面が表示されたモニターがタッチパネルモニターの場合、画面中央の十字の中心をタッチしてください。自動的に操作エリアの設定が行われます。表示されているモニターがタッチパネルモニターではない場合、画面内の "次へ"をクリックしてください。



Oマルチモニタ環境において、(4)の画面の表示以降にタッチしたモニターと操作される画面が異なる場合、OSのタッチ機能の設定が正しく設定されていない可能性があります。22ページをご参照いただき、タブレットPCの設定を行ってください。

7. UPDD コンソール (機能設定ツール)

このソフトウェアにて各機能の設定を行います。起動後、以下の画面が表示されます。

	•	UPDDコンソール	_ 🗆 🗙
1-	Controller USB		
2-	עולא-וי		
3-	— vy>ウモード	厚 画面の モニター1 を操作	
4 -		🔿 USBポート に接続	
5-			
6-	━━ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	🐞 ጳ୬チOSD	🕂 デバイスの追加
			📼 デバイスの削除
<i></i> ⑦-	キャリブレーション		✓ 閉じる 🧯 情報
			8 9

※UPDDコンソールの起動は、5章「ソフトウェアの起動」を参照ください。

1	デバイス選択	機能設定するデバイスを選択します
		各設定はここに表示されているデバイスに対して適用されます。
2	ハードウェア	ハードウェア、およびタッチ OSD に関する設定を行います。
		(7.1 項参照)
3	クリックモード	クリック動作に関する設定を行います。(7.2項参照)
4	プロパティ	デバイスに関する設定を行います。(7.3項参照)
6	キャリブレーション	キャリブレーション設定を行います。(7.4 項参照)
6	状態タブ	現在の状態の確認、およびテストツールの起動を行います。
		(7.5 項参照)
Ø	キャリブレーションボタン	キャリブレーションを開始します。
8	閉じる	本ツールを終了します。
9	情報	バージョン情報、およびライセンス内容を表示します。

7.1 ハードウェア

1	UPDDコンソール	- □ ×
Controller USB		
ハードウェア ♪リックモード ジョクティ オロパティ キャリブレーション	👽 画面の モニター1 を操作── 과 USBポート に接続 ──	1 2
₩	🍻 \$ෟ 7 0SD 3	🕂 デバイスの追加 — ④ == デバイスの削除 — ⑤
🛄 হল্যাস্টা-হিচ্চ		√ 閉じる 〕情報

1	操作エリアの選択	操作エリアを設定します。
	操作エリアの選択	※設定後は必ずキャリブレーションを行ってください。
	史全体 マーク 1 マーク 2 マーク 2	〇全体
	S L_9 2 ■ T_9 3 ■ T_9 4	1 台のタッチパネルモニターを使用する場合に選択します。
	W その他	Oモニタ1 ~ モニタ4
		マルチモニタ環境で使用するタッチパネルモニター台数に応じて
		選択します。
	操作エリアの選択 🔀	※7.1.1 項を参照してください。
	 ■ 左半分 ■ 右半分 	〇その他
	「夏 左1/3 「夏 中央1/3 「夏 右1/3	1 台のタッチパネルモニターで画面の一部をタッチエリアとして設
	↓ 上半分 ▼ 下半分	定したい場合に選択します。
		[その他]を選択すると画面の左半分、上半分などあらかじめ準備され
	■ ■ 五1/4 ■ 左上	た項目と任意の設定が可能な[カスタム]項目が表示されます。
		設定したい項目を選択してください。
	そう」 	※[その他]を設定する場合は 7.4 項のキャリブレーションポイント
		数を4ポイントに設定し、キャリブレーションを行ってください。
2	接続ポートの選択	デバイスを接続するポートを表示します。
		シリアルポート接続の場合、接続するCOMを選択することができます。
3	タッチ OSD	タッチ操作より OSD 機能を操作するタッチ OSD に関する設定を行い
		ます。(7.1.2 項参照)
4	デバイスの追加	新しいデバイスの追加を行います。
5	デバイスの削除	現在のデバイスの削除を行います。

7.1.1 デバイスの追加

タッチモニタを追加するとき、USB接続した場合はタッチモニタが自動的に認識されますが、シリア ルポート接続した場合はデバイスの追加が必要です。

(1) UPDDコンソールのデバイスの追加をクリックする。

	UPDDコンソール	_ 🗆 🗙
Controller USB		
ハードウェア ♪リックモード ジョクパティ キャリブレーション	厚 画面の モニター1 を操作 🔿 USBポート に接続	
₩₩	🍻 ጳፇ ታ OSD	🛖 デバイスの追加 📟 デバイスの削除
キャリブレーション	1	✓ 閉じる 🧊 情報

(2) コントローラの選択で Controller Serial, Serialを選択し、操作エリアの選択、接続しているポートの選択を行ってください。

 デバイスの追加 	 デバイスの追加
デバイスの設定	デバイスの設定
	Choose controller type>
新しいデバイスを識別するための名前を入力してください	コントローラの選択 🛛 Controller Serial, Serial
操作エリアまたは操作対象モニタを選択してください	操作エリアまたは操作対象モニタを選択してください
✓ OK ×キャンセル	✓ OK × キャンセンル
	\mathcal{A}
 デバイスの追加 	
デバイスの設定	
Controller Serial, Serial	
新しいテバイスを識別するための名前を入力してください	
Controller Serial	
「休」Fエリアよんは休」F×1家て_ジを送びしていたでい	
▼ ±1+ ポートの選択	
COM1	
✓ OK × キャンセル	

7.1.2 マルチモニタ設定

マルチモニタ環境で使用する場合、各タッチパネルモニターと表示画面を関連付けすることができます。

- ※ マルチモニタ環境を構築し、メインディスプレイを変更する場合はマルチモニタ環境を整えた後 で本ソフトウェアをインストールし設定することをお勧めします。
- ※ 設定変更後は必ずキャリブレーションを行ってください。

(1) UPDDコンソールのデバイス選択で関連付けを行うデバイスを指定し、操作エリアの選択をクリックする。

	UPDDコンソール	- 🗆 🗙
Controller USB		
ハードウェア クリックモード クリックモード ジブロパティ キャリブレーション	■ 画面の モニター1 を操作 ■ USBポート に接続	
	🍻 ቃንታOSD	🛖 デバイスの追加 📟 デバイスの削除
キャリブレーション		🗸 閉じる 🧾 情報

(2)操作エリアの選択をクリックすると操作エリア設定のウィンドウが表示されるので、指定したデバ イスが接続されているタッチモニタのモニタ番号を設定してください。

● 操作-	יקנו: ארעי		「モニタ1] 選択の場合	
操作エリアまたは操作対象モニタを選択してくださ ② 全体	い			٢
操作エリアを変更後はキャリブレーションを実施	ださい	\Rightarrow	[モニタ2] 選択の場合	
	✓ OK ×*>ンセル		操作エリアまたは操作対象モニタを選択してください モニタ 2	•

※各モニタ番号は[コントロールパネル]にある[画面のプロパティ]の[設定]タブの[識別]で 確認できます。

(3) 別のタッチモニタについても UPDD コンソールのデバイス選択で関連付けを行うデバイスを指定 し、モニタ番号を指定してください。 ※ワンポイント※

選択したデバイスで [モニタ 1] を選択すると、そのデバイス (タッチパネルモニター)の入力が [モニタ1] の表示画面の座標に関連付けられます。

同様に別の選択したデバイスで[モニタ2]を選択すると、そのデバイス(タッチパネルモニター) の入力が[モニタ2]の表示画面の座標に関連付けられます。なお、モニタの数が増えても同様です。

(例1)操作エリアの選択と表示画面の識別が同じ場合



左側の [モニタ 1] 選択デバイスをタッチした場合、左側のモニタ 1 に表示された表示画面 1 の操作を行います。 (通常の操作)

(例2)操作エリアの選択と表示画面の識別が異なる場合



左側[モニタ 1] 選択デバイスをタッチしても、右側の表示画面 1 の操作を行うことになります。

- ※本内容は2画面別表示(デュアルビュー)の場合です。2画面同一表示(クローン)の場合は、2 台のタッチパネルモニターで同一の表示画面を操作することになります。
- ※ 接続のないモニタ番号は選択しないようにしてください。
- ※ USB接続でマルチモニタを使用する場合、2台目のタッチパネルモニターをUSB接続した際にデ バイスが入れ替わる場合があります。その場合は操作エリアの設定を変更してキャリブレーション してください。

※ワンポイント※ 自動で関連付けを行うこともできます。

(1) 操作エリアの選択で [全画面設定] をクリックします。

	操作エリア	
ontroller USB		
*作エリアまたは探	作対象モニタを選択してください	
A /#		<u>_</u>
)	·····································	産
衆作エリアを変更後	まはキャリブレーションを実施ください	
		• •
		¥ **/ 171L

(2)以下の画面が接続されている全てのモニターに一画面ずつ順番に表示されます。画面が表示された モニターがタッチモニターの場合、画面中央の十字の中心をタッチしてください。

表示されているモニターがタッチモニターではない場合、画面内の"次へ"をクリックしてください。

十字にタッチしてください。 このモニターにタッチインターフェイスが無い場合は、「 次へ 」をクリックします。
+
<u>`</u> \$<>>>

※ワンポイント※

モニタ番号を正しく設定したのにもかかわらず、キャリブレーション画面が表示されるモニターが異なっていたり、キャリブレーション後にタッチしたモニターと操作される画面が異なる場合、OSのタッチ機能の設定が正しく設定されていない可能性があります。

以下の手順で再設定を行ってください。

(1) タブレット PC 設定の起動

[コントロールパネル] から [デバイスマネージャー] を選択し、 [タブレット PC 設定] をクリッ クします。



(2) タブレット PC 設定セットアップの起動

タブレット PC 設定で [セットアップ] をクリックします

3	タブレット PC 設定 ×
画面その他	
- 構成 ペンとタッチ ディス:	プレイを構成します。 🛞 セットアップ(S)
ディスプレイ オプシ	⊒ ∠
ディスプレイ:	1. TSD-XT1515 🗸
言羊糸田:	タッチ(制限あり)のサポート
画面の向きの回転	御腔(①… 御りセット(B)… 御序を選択してください。設定画面を表示

(3) モニターの選択

以下の画面が接続されている全てのモニターに一画面ずつ順番に表示されます。画面が表示されたモ ニターがタッチモニターの場合、モニターをタッチし、Enterキーを押してください。

表示されたモニターがタッチモニターではない場合、Enterキーを押してください。 このとき、他のタッチモニターをタッチしないでください。



7.1.3 タッチ OSD



1	タッチシーケンス	タッチ操作により OSD メニューを表示させるためのコマンドを表示し
		ます。
2	タッチシーケンス入力	タッチシーケンスを変更する際に画面上 A/B/C/D をクリック(タッ
		チ)することでタッチシーケンスを変更します。
		タッチした位置がタッチシーケンスに表示されます。
3	タッチ OSD 有効	タッチ OSD 機能を有効/無効を選択します。
		チェックされている時に機能が有効となります。
4	OSD の表示	タッチ OSD の有効/無効にかかわらず、OSD メニューを表示します。
6	設定保存	変更したタッチ OSD の設定を保存します。
		タッチ OSD の設定を変更した場合のみクリック可能になります。
		※変更した設定を有効にするには設定保存をする必要があります。
6	閉じる	このウィンドウを閉じます。

7.2 クリックモード

	UPDDコンソール		_ 🗆 X
Controller USB			
א-דטידע (גע	🕐 クリック & ドラッグ	☑ 拡張タッチモ	
(小) クリックモード			
לוחל 😂 לסוידי			
キャリブレーション		🌒 サウンドオブ	لولا
		12) <u>— (2</u>)	
₩	システムマウスの設定 — ③	右クリック	ダブルクリック
	C	6	6
キャリブレーション		🖌 閉じる	1 情報

1	サウンドオプション	タッチした時、離す時に再生される音声ファイルを選択できます。
		※お使いのパソコンによっては音声が鳴らない場合があります。
2	テストアイコン	各アイコンを操作することで右クリックおよびダブルクリックのテスト
		を行うことができます。
3	システムマウスの設定	オペレーティングシステムのマウスのプロパティを表示します。

7.3 プロパティ

•		□ ×
Controller USB		
	1 名前 Controller USB	
の クリックモード	② □-パスフィルター □ ↑ ↓ ⑤ ☑ IJフトオフパケットを	使用
לער אין	3 JJ>F47946 🛛 🛧 🗸	
₩ 8	マルチモニタオプション	
	モード 💟 インターロック	
	リリースタイム 5 🔷 🛧 🌢 🧐 🚮 詳細設定	E
🃜 キャリブレーション	✔ 閉じる 🧃 情報	

1	デバイス名	デバイスに名前をつけることができます。	
2	ローパスフィルター	線描写を滑らかに行うために設定します。	
	(設定範囲:0 ~ 100)	※あまり値を高く設定しすぎると描写速度に影響を与えますのでご注意くだ	
		さい。	
3	リフトオフタイム	[リフトオフパケットを使用] がオフの時に有効となる機能です。	
	(設定範囲:1 ~ 100)	本ソフトウェアが最後の座標データを受け取った後、タッチアップ処理を行う	
		までの待ち時間を設定します。	
		※設定値が0のとき、[リフトオフパケットを使用]は無効となります。	
		リフトオフパケットを使用する場合、1 以上で設定してください。	
4	安定化	カーソルが一定の位置に留まろうとする作用のレベルを設定します。	
	(設定範囲:0 ~ 100)	タッチ入力位置の移動量が一定量を超えるまでカーソルは移動しません。	
		初期値Оで安定化作用は働かず、設定値が大きいほど安定化作用が働きます。	
6	平均化	カーソルが一定の位置に留まろうとする作用のレベルを設定します。	
	(設定範囲:0 ~ 100)	[安定化] とは異なり、設定値により、タッチ位置は緩やかに移動します。	
		初期値Оで平均化作用は働かず、設定値が大きいほど平均化作用が働きます。	
6	リフトオフパケット	チェックされている場合、タッチを離すとコントローラのリフトオフパケット	
	を使用	によりタッチアップ操作します。チェックされていない場合、上記の [リフト	
		オフタイム〕が有効になります。	
\bigcirc	有効	デバイスのタッチ動作の有効/無効を選択します。	
		チェックされている時にタッチパネル操作が可能になります。	

8	マルチモニタオプション	複数のタッチパネルモニターを使用する時、それぞれのデバイスに対して、タ		
	モード	ッチ操作の優先権の設定をすることができます。		
		Oインターロック		
	a b / a o Wite	他に使っているユーザーがいない場合はタッチ操作が可能です。		
		他に使っているユーザーがいた場合、そのユーザーがタッチ操作を止めてか		
	 ○ アドミニ ○ 無効 	らそのユーザーのタッチパネルモニターの [リリースタイム] の設定時間経過		
		後にタッチ操作ができるようになります。また、タッチ操作中にも、他のユー		
		ザーがアドミニ権限をもつ別のタッチパネルモニターでタッチ操作を行うと、		
		このユーザーの操作は停止し、他のユーザーのタッチ操作が終わるまでタッチ		
		操作を行うことができません。		
		Oアドミニ		
		いつでもタッチ操作が行える権限です。他のユーザーが使用中でも割り込ん		
		で操作することができます。ただし、同時に複数のアドミニ権限をもつ別の		
		タッチパネルがある場合、インターロック設定と同様の動作を行います。		
		〇無効		
		インターロックの機能を無効とし、他に使っているユーザーがいた場合でも		
		タッチ操作ができる設定です。ただし、他のユーザーがアドミニ権限を持つ		
		別のタッチパネルモニターでタッチ操作を行っていた場合、そのユーザーが		
		タッチ操作を止めてから [リリースタイム] の設定時間経過後にタッチ操作		
		ができるようになります。		
	リリースタイム	ユーザーがタッチ操作終了後、インターロック設定の別のタッチパネルに対		
	(設定範囲:0 ~ 100)	し、タッチパネルの使用権を放棄するまでの時間を設定します。(初期値:5)		
9	詳細設定			
	端面加速度	カーソルが画面端に近づく時にカーソルの移動量を増加することができます。		
		インストール時の初期値は以下の通りです。		
		左 幅:3000、ゲイン:12		
		右 幅:3000、ゲイン:12		
		上 幅:3000、ゲイン:12		
		下 幅:3000、ゲイン:12		
	幅	上下左右各々の画面端から機能が有効となる範囲を設定します。		
		これは画面全体を 65535×65535 とした場合の設定値となります。		
		例えば、下幅:3000ならば画面下から3000の距離となり、15インチの場		
		合画面サイズが 304×228mm であるので、		
		228mm × (3000/65535) ≒ 10mm となり、		
		画面下から約 10mm の範囲で[端面加速度]機能が有効となります。		
	ゲイン	実際のタッチ入力からの移動量の増幅度を設定しています。		
		増幅度は設定値の 1/10 倍です。		
		増幅度を設定される場合、設定値は 10~20(1~2倍)の範囲で設定するこ		
		増幅度を設定される場合、設定値は 10~20(1~2 倍)の範囲で設定するこ		

キャリブレーションエリ	この機能は有効のままお使いください。
アの外側を無視する	この機能は 7.1 項①操作エリアの選択で[その他]を選択している場合、操作エ
	リアの範囲外でのタッチ操作を受け付けます。その場合、マウスカーソルは操
	作エリアの中で反応します。

7.4 キャリブレーション



1	スタイル	キャリブレーションスタイルを設定します。
		※スタイルを変更した場合はキャリブレーションを実行してください。
2	キャリブレーション	新しいキャリブレーションスタイルを追加します。
	スタイルの追加	以下にあるキャリブレーション設定、およびキャリブレーションデータを
		保存します。 ※スタイルを新しく追加した場合はキャリブレーション
		を実行してください。
3	キャリブレーション	選択したキャリブレーションスタイルを削除します。
	スタイルの削除	キャリブレーションスタイルが複数ある時のみ表示されます。
4	キャリブレーション	キャリブレーション時に使用するポイント数を設定します。(初期値:5)
	ポイント数	※7.1 項の①[操作エリアの選択]で[全体]および[モニタ 1]~[モニタ 4]
	(設定範囲:2 ~ 25)	を選択されている場合で、タッチの精度を上げたい場合はポイント数を増
		やしてキャリブレーションを行ってください。
		※7.1 項の①[操作エリアの選択]で[その他]を設定する場合は、ポイント
		数を4ポイントに設定し、キャリブレーションを行ってください。
5	位置%	キャリブレーションポイントを画面の端面からどのくらいの位置に表示
	(設定範囲:0 ~ 25)	するかを設定します。(初期値:5)
6	タイムアウト(secs)	キャリブレーション開始後、タイムアウトになるまでの時間を設定しま
		す。(初期値:10)
Ø	キャリブレーション	チェックされている場合、キャリブレーション実行後に確認画面が表示さ
	後の確認	れます。
8	サウンドオプション	キャリブレーション実行中の・キャリブレーションターゲットの表示
		時、・キャリブレーションポイントのタッチ時、・離す時、に再生される
		音声ファイルを選択できます。
		※お使いのパソコンによってはビープ音が鳴らない場合があります。

7.5 状態

6	UPDDコンソール	>
Controller Serial		
الم المراتية المراتي مراتية المراتية المراتي مراتية المراتية المراتي	コントローラタイプ: Controller Serial, Serial) 状態: 有効 ④ 同期エラ〜:) マクロ送信結果: ✔ OK	: 0
ジロパティ ★ヤリブレーション ★**	 (5) ノ 描写テスト (6) ## タッチテスト 	
キャリブレーション	✓ 閉じる	情報

1	コントローラタイプ	選択しているデバイスのコントローラのタイプを表示します。		
2	状態	コントローラの接続状態を表示します。		
4	マクロ送信結果	シリアルポート接続の場合に表示されます。		
		接続されているポートヘマクロ(任意のコマンド)を送信した結果を		
		表示します。		
		表示される内容は以下の通りです。		
		✓ OK 正常な状態です。		
		────────────────────────────────────		
		い場合に表示されます。		
3	同期エラー	シリアルポート接続で本ソフトウエアがハードウェアポートまたは		
		受信データパケットで何らかのエラーを受け取った場合に示されま		
		ਰੋ		
		この値は通常0または非常に低い値です。高い値が表示されている場		
		合には、接続されているデバイスの性能に影響を与える可能性のある		
		エラーが発生していることを意味します。		
6	描写テスト	描写テストのツールを起動します。		
6	タッチテスト	タッチテストのツールを起動します。		

8. スタンバイ(スリープ)状態からの復帰

USB 接続で使用する場合、スタンバイ状態においてタッチパネルをタッチすることによりスタンバイ状態から復帰させることが出来ます。 ※ 本機能はタッチパネルモニターがシリアル接続の場合、機能しません。

この機能を有効にする場合は以下の設定を行ってください。

(1) コントロールパネルの起動

[チャームバー] から [設定] を選択し [コントロールパネル] を開きます。



(2) デバイスマネージャーの起動[コントロールパネル]から[デバイスマネージャー]を選択します。



※コントロールパネルで [デバイスマネージャー] が表示されていない場合は、コントロールパネルの[表示方法]を「大きいアイコン」または「小さいアイコン」で表示してください。

9	コントロール パオ	SIL .	- • ×
€ ∋ - ↑ 9	▶ コントロール バネル	ٽ ×	םאר-םאגר א
בלעב	-ターの設定を調整します	表示方法:	カテゴリ ▼ ● カテゴリ(C)
	システムとセキュリティ コンピューターの状態を確認 ファイル履歴でファイルのバックアップコピーを保存 問題の発見と解決	ユーザー アカウントとファミリー ティ ⑦ アカウントの種類の変更 ⑧ ファミリー セーフティの設定	大きいアイコン(L) 小さいアイコン(S)
<u> </u>	ネットワークとインターネット インターネットへの接続 ネットワークの状態とタスクの表示 ホームグループと共有に関するオプションの違択	デスクトップのカスタマイズ テーマの変更 デスクトップの背景の変更 画面の解像度の調整	v

(3) Controller USB, USB (UPDD)のプロパティの変更

タッチパネルモニターを USB 接続すると[デバイスマネージャ]の「マウスとそのほかのポインティングデバイス」に「Controller USB, USB(UPDD)」がエントリーされます。

このエントリーで右クリックしてプロパティ画面を開き、「電源の管理」タブの「このデバイスで、 コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」にチェックを入れます。

🚔 デバイス マネージャー	- 🗆 🗙	Controller USB, USB (UPDD)のプロパティ ×
ファイル(E) 操作(A) 表示(⊻) ヘルプ(出)		全般 ドライバー 詳細 イベント 電源の管理
		Controller USB, USB (UPDD)
マウスとそのほかのポインティング デバイス マウスと	プロパティ^	
M Controller USB, USB (UPDD) M HID 準拠マワス		□ 電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする(A)
🖉 Universal Pointer Device Driver	~	このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする(0)
		OK キャンセル

※ご注意※

ハイブリッドスリープはオフに設定してください。

ハイブリットスリープは、以下の手順により設定することができます。

① [コントロールパネル] を開き、表示方法を「大きいアイコン」または「小さいアイコン」に変更 します。



② [電源オプション] を選択します。



③ [プラン設定の変更]をクリックします。

\$	電源オプション - ロ ×
😸 🌛 🔹 🛊 🔹 🛞	ロール ・ 電源オブション 🗸 🖕 🗸 🗸 🗸 🗸
コントロール パネル ホーム	⑦ 電源プランの選択またはカスタマイズ
スリープ解除時のパスワード保護 電源ボタンの動作の選択	電源プランは、コンピューターの電源の使用方法を管理するハードウェア設 定とシステム設定 (ディスプレイの明るさやスリープなど) のコレクションです。 <u>電源プランの詳細</u>
 ■ ディスプレイの電源を切る時間の指定 ● コンピューターがスリープ状態になる 	お気に入りのプラン (● バランス (推奨) 自動的にパフォーマンスと電力消費のパランスを取ります。(ハ ードウェアでサポートされている場合)
時間を変更	 ○ 省電力 ブラン設定の変更 電力の消費を抑えますが、パフォーマンスは低下します。
関連項目 個人設定 ユーザー アカウント	追加プランの表示

④[詳細な電源設定の変更]をクリックします。



⑤電源オプションの「スリープ」-「ハイブリッドスリープを許可する」の「+」をクリックして設定プ ルダウンメニューから「オフ」を選択します。「OK」ボタンを押して設定を完了させます。

8	電源オプション	?	×
詳細設定			
1	カスタマイズする電源プランを選択してから、お使いのコンと で電源を管理する方法を選択してください。	<u>'</u> 1-	9-
🥘 現	在利用できない設定の変更		
バランス	、[アクティブ] ・		
	イヤレス アダプターの設定 Jープ		^
	次の時間が経過後スリープする リイブリッド スリープを許可する		
	設定: オフ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、		
÷	次の時間/オフ 6-98 スリープ解除オン		
	5B 設定 源ボタンとカバー		
	T Express	-	*
	既定のノランの復元(<u>K)</u>	
	OK キャンセル	適用	(<u>A</u>)

9. 故障かなと思ったら

インストールが完了してもタッチパネルが動作しない場合は、次のことを確認してください。

●タッチパネルが動作しない

* タッチパネルが「動かない」原因は「タッチパネルが故障している」だけではありません。 「接続方法が間違っている」「コンピュータが壊れている」「本ソフトウェアのインストールに 失敗している」「接続しても動作しないシステム環境」「特殊な設定が必要なシステム環境」な どなど、実に様々なものがあります。 本書の内容、取扱説明書などを、もう一度ご覧いただくことをお願いいたします。

* ハードウェアとソフトウェアの障害切り分け タッチが効かない時は、まず、原因がタッチパネルのハードウェアにあるのか、ソフトウェアに あるのかを切り分ける必要があります。

- * 2台以上ご購入になられた場合 タッチパネルモニターだけ交換してみてください。交換先に不具合が追従しない様であれば、コ ンピュータ側が原因です。
- * タッチ通信ケーブル異常 タッチ通信ケーブルが正常に接続されていない可能性があります。弊社製品添付品を使用になり、 設定された接続ポートに確実に接続してください。

付録 タッチパネルアプリケーションのデザイン

この項では、タッチパネルモニターを使用するアプリケーションを設計される際に参考にして頂きたい点を記述しています。

● 画面は高輝度に

明るい色の画面にすることにより、指紋が目立たなくなります。

- ドラッグ、ダブルクリック
 ウィンドウシステム特有の操作をおこなわせず、「ボタンを押す」という単純な動作に統一しましょう。
- タッチをすぐに反応させる
 タッチ入力に対して、すぐに何らかのリアクションをかけることによって、タッチが効いている
 ことをユーザーに知らせましょう。
- ボタンは大きく ボタンは指よりも大きくするというのはもちろんですが、タッチパネルの厚みや設置状態などに よる視点のずれ(視差)がありますので、それも考慮した大きさのボタンにしましょう。
- ボタンは離す

隣り合ったボタン同士の間隔をとることは必要ですが、タッチパネルの厚みや設置状態などによ る視点のずれ(視差)がありますので、それも考慮した間隔にしましょう。

● マウスカーソルを消す

マウスカーソルの存在を知らない人にとっては、矢印が「ここにタッチしてください」というガ イドと思われてしまうことがあります。マウスカーソルを消して錯覚を回避させましょう。 TSD-AT シリーズ タッチドライバ

Universal Pointer Device Driver UPDD ユーザーズガイド Version 05.01.1425B/G16457

2015年 9月 7日 初版発行

発行元:三菱電機エンジニアリング株式会社

本マニュアルの一部または全部の無断転載、無断複写を禁止致します。

本マニュアルの内容は、予告なく変更することがあります。

Windows® は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他本書に記載された社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。